就業支援のプロセス（インテーク、職業準備性向上のための支援、求職活動支援、定着支援など）や、発達障害の人たちの職業的課題、支援上の留意点などを理解するとともに、働くこととキャリア教育、進路指導とのつながりを理解する。

◆主な内容◆

- ・作業学習
- ・進路指導
- ・キャリア教育
- ・就労準備性（職業準備性）
- ・就労トレーニング
- ・就職活動（求職活動）
- ・定着支援

◆研修講座名（例）◆

「『働くこと』を支えるために必要なこと」（講義・演習 90 分）

○本人を就労につなげたり、就労を支えたりするために必要な指導・支援内容（講義 45 分）

- ・学齢期において大切なことや関連する教育内容（キャリア教育等）について概説する。
- ・就職活動の時期において大切なことや関連する内容について概説する。
- ・働くことが定着するために大切なことや関連する内容について概説する。

○教育や福祉の立場から意見交換する場の設定（演習 45 分）

- ・本人を働く場につなげたり、働くことを支えたりするために必要な支援内容について、グループで意見交換する場を設ける。
- ・福祉関係者と教育関係者が意見交換できるようなメンバー構成を行う。

◆到達指標◆（教育関係者・福祉関係者共通）

初級：働く場につながり定着に至るまでの指導・支援の流れを説明できる。

中級：働く場につながり定着に至るまでの指導・支援の流れを踏まえ、支援に「働く」という視点からのアイデアを取り入れることができる。

上級：働く場につながり定着に至るまでの指導・支援の流れを踏まえ、他機関・他職種に対して、「働く」という視点を取り入れた支援のアイデアを提案できる。